



青森県感染症発生情報 (2018年第27週)

I 第27週の発生動向 (2018/7/2~2018/7/8)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内で定点当たり報告数が前週の0.80から2.00に増加し、他保健所管内より多い状態です。
4. マイコプラズマ肺炎については、むつ保健所管内で定点当たり報告数が2週連続で増加し、他保健所管内より多い状態が続いています。
5. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型1人でした。

II 第27週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ															
			1	0.07									1	0.02	1	
小児科	RSウイルス感染症															
		7	0.88	3	0.33	3	0.30			10	1.67	3	0.75	26	0.62	13
	咽頭結膜熱															
		1	0.13	9	1.00	4	0.40	1	0.20			2	0.50	17	0.40	10
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎															
		6	0.75	1	0.11	28	2.80	3	0.60	9	1.50	4	1.00	51	1.21	-4
	感染性胃腸炎															
		70	8.75	18	2.00	50	5.00	16	3.20	15	2.50	22	5.50	191	4.55	-53
	水痘															
	1	0.13	5	0.56	4	0.40							10	0.24	-1	
手足口病																
	3	0.38	6	0.67	8	0.80	9	1.80	3	0.50	1	0.25	30	0.71	-13	
伝染性紅斑																
					1	0.10							1	0.02	0	
突発性発しん																
	4	0.50	3	0.33	4	0.40					1	0.25	12	0.29	-4	
ヘルパンギーナ																
			5	0.56			7	1.40	1	0.17			13	0.31	6	
流行性耳下腺炎																
					20	2.00			5	0.83	1	0.25	26	0.62	-1	
眼科	急性出血性結膜炎															
																0
流行性角結膜炎																
	2	1.00			3	1.50			1	0.50			6	0.55	-2	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															
																0
	クラミジア肺炎															
																0
	細菌性髄膜炎															
															0	
マイコプラズマ肺炎																
											9	9.00	9	1.50	2	
無菌性髄膜炎																
															0	

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

梅毒 (五類全数把握対象疾患) 第2回

近年、本県では、全国と同様に梅毒患者報告数が急激に増加しています。梅毒の症状は、第I期(感染後約3週間)に感染した場所にできもの、しこり、ただれなどができます。無治療でも自然に軽快します。治療せずに第II期(感染後数か月)に移行すると、病原体が血液によって全身に運ばれ、手のひら、足の裏、体全体に赤い発疹が出る場合があります。本県では第II期で判定されることが多く、梅毒の感染に気づかずに治療が遅れたり、感染を広めている可能性があります(図)。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こす場合があります。梅毒は早期の薬物治療で完治が可能ですので、早めに医療機関を受診しましょう。また、時に無症状になりながら進行するため、治ったことを確認しないで途中で治療をやめてしまわないようにすることが重要です。

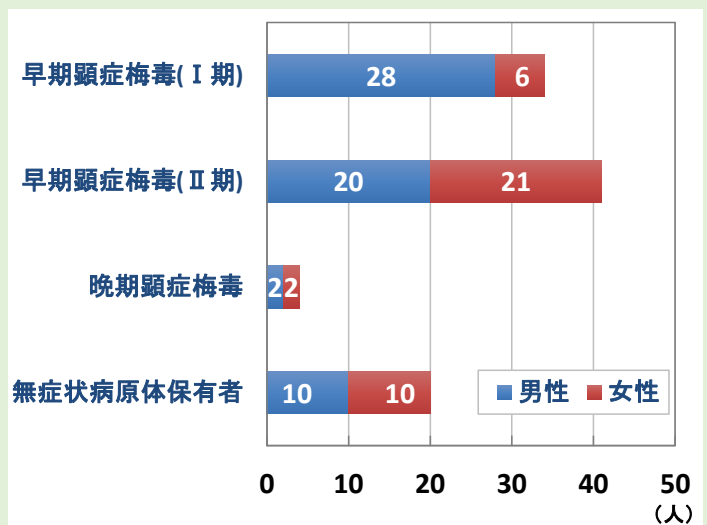


図: 青森県における病型別梅毒報告数 (2015年~2017年)

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [梅毒 Q&A\(厚生労働省 HP\)](#)

🔍 梅毒 厚生労働省 検索



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市 2 人、八戸市 2 人、五所川原 1 人 (2018 年計：96 人)
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：八戸市 1 人 (2018 年計：19 人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

インフルエンザ患者（咽頭ぬぐい液、6/5）・・・インフルエンザウイルス B 型（山形系統）：上十三 1 人
 RS ウイルス感染症患者（鼻汁、6/12～22）・・・ヒトメタニューモウイルス：弘前 1 人、
 パラインフルエンザウイルス 1 型：弘前 1 人、
 パラインフルエンザウイルス 3 型：八戸市 1 人
 無菌性髄膜炎疑い患者（咽頭ぬぐい液、6/18）・・・パラインフルエンザウイルス 3 型：八戸市 1 人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2018 年第 24 週～2018 年第 27 週)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
24	H30.6.11 ~ H30.6.17	梅毒1人	つつが虫病1人 百日咳2人	腸管出血性大腸菌 感染症3人 梅毒1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	
25	H30.6.18 ~ H30.6.24						
26	H30.6.25 ~ H30.7.1		百日咳1人				
27	H30.7.2 ~ H30.7.8			梅毒1人			

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2018 年第 24 週～2018 年第 27 週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
24	H30.6.11 ~ H30.6.17		1				
25	H30.6.18 ~ H30.6.24	2	2			1	
26	H30.6.25 ~ H30.7.1	1	4			2	
27	H30.7.2 ~ H30.7.8	2		2	1		

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第26週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	10426	2	89	984	18	10	202	472	6	4

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症
累積報告数	1	1	38	1	1	88	62	87	2	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎
累積報告数	23	1	1	785	2	408	100	814	10	377

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	10	103	387	618	39	248	21	2002	211	3236

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	87	50	26	2813	43	176	9

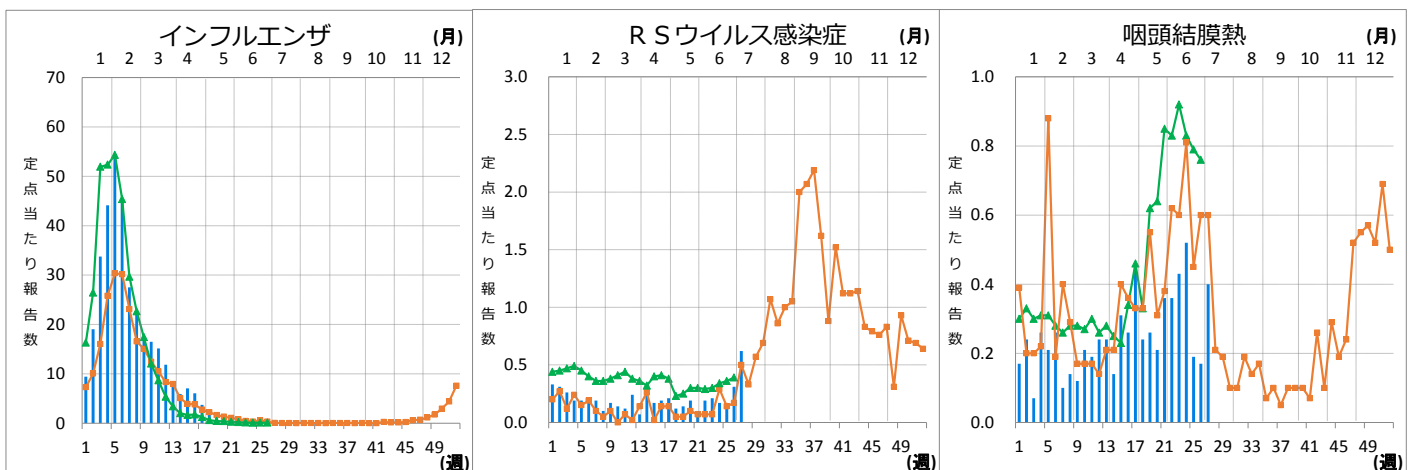
青森県（2018年第1週～2018年第27週までの累計）

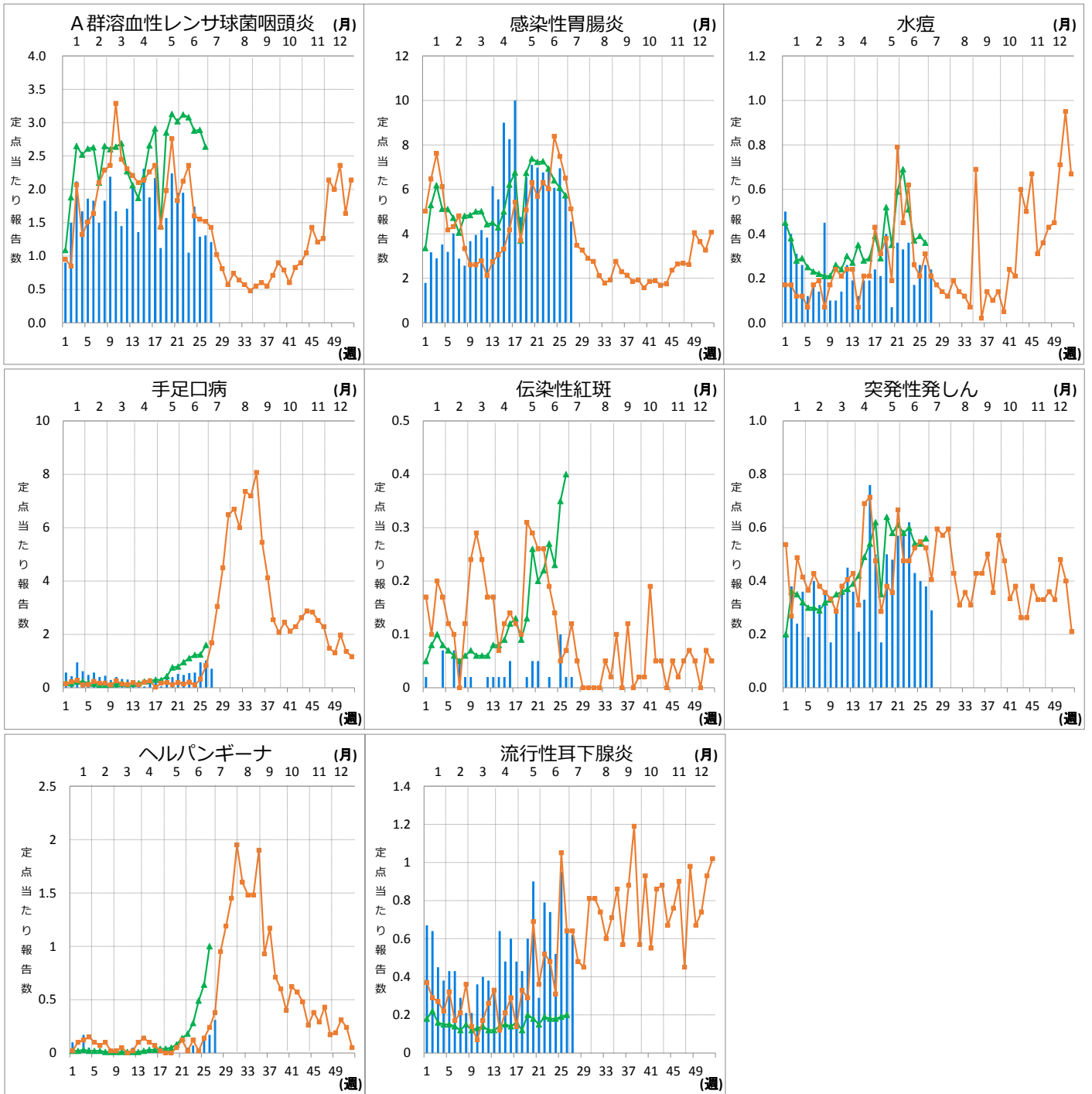
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	96	3	10	1	4	2	1	11	1	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	4	2	1	7	2	19	3	22

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第27週、ただし全国は前週）

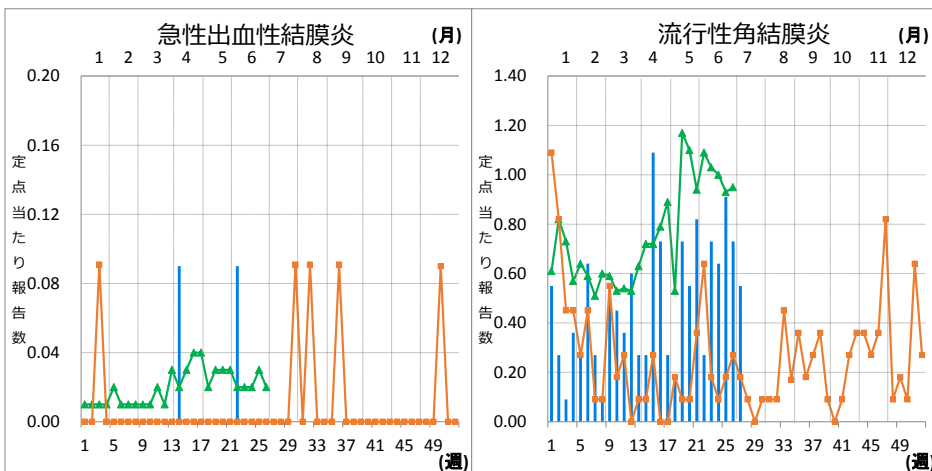
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





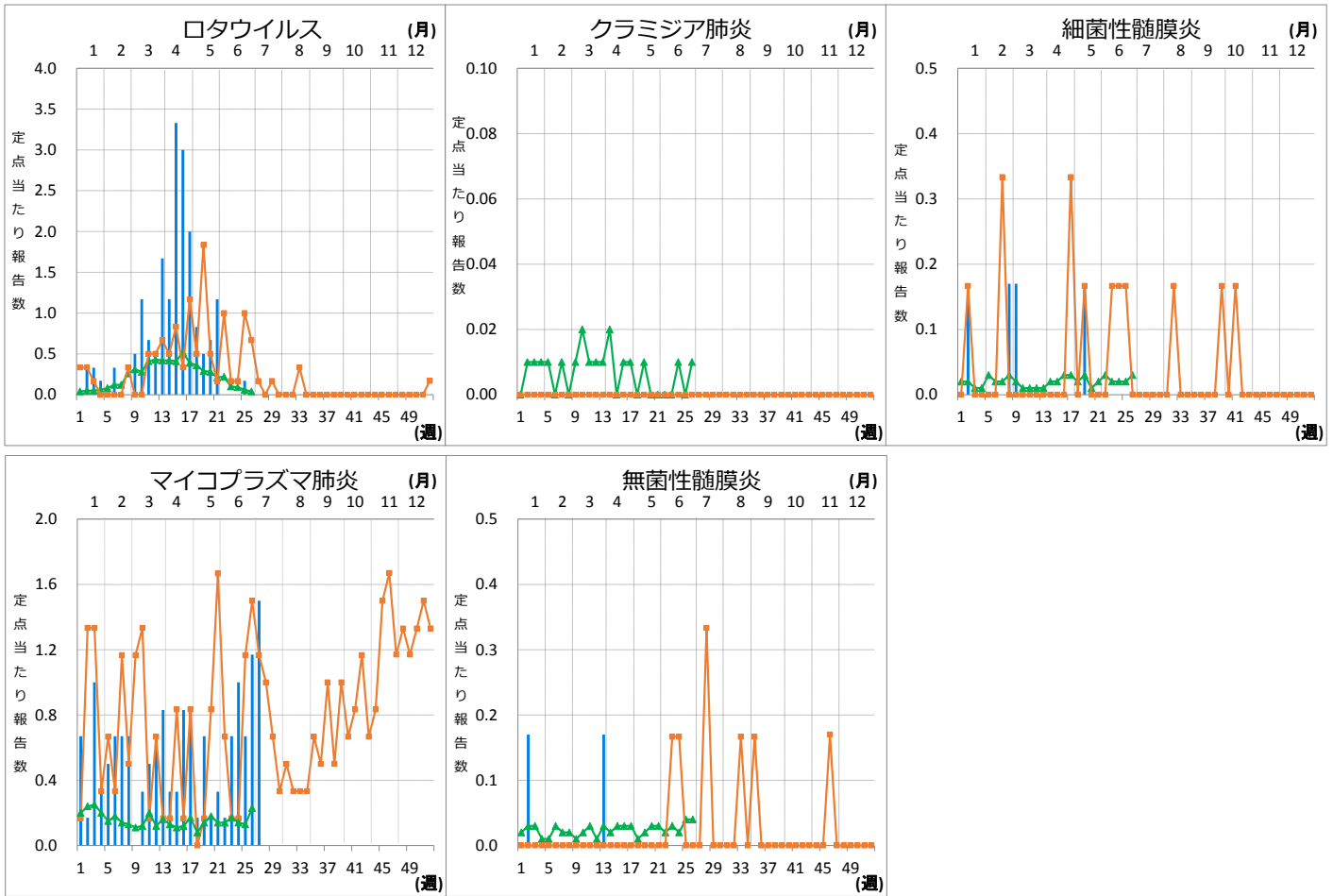
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第27週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第27週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第27週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26週 27週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	8
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	105
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	14
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	212